

池川自然学園の綴り方

〔平成十三年度〕

『山村留学について』2000.9.1

M・Y 中学2年時 男子

この自然学園に初めてきて、一番最初に思ったのがすごいなあです。どこがすごいかと言うと、周りを山が囲んでいることと建物が多いと言うことです。そして、八月三十一日にきて最初に、自分の暮らしていく部屋を見てすごく広いなあと思いました。図書館では、すごい量のマンガを見つけたのでゆっくりと少しずつ読んでいきたいです。今は、この自然学園で友達とつくっていった、そして、中学校では十人くらいは友達をつくっていききたいです。そして、友達と一緒にいろいろな遊びをしたいです。また、他人のためまたは自分自身のために、この自然学園でどこまでできるかのためにしてみたいです。



『池川自然学園に入るにあたって』

2001.4

M・K 中学3年男子

僕がこの池川自然学園に入るにあたるまで、言葉では言い尽くせない程、本当に辛くて苦しい日々でした。なぜなら、自分で自分を毎日心の中で責め続けたり、自分の家族にもあたりちらしてしまつたからです。でも、周囲のみんなや、周りの方々の御陰によって、何とか自分の気持ちが前向きになっていき、そして、立ち直る事が出来ました。そのため、普通に学校に通いながら、自ら進んで親元から自立して行くには、このような自然の中で、のびのびと育ち、日々の生活を楽しむには、この高知県の池川という所が最も最適だと思い、残り少ない自分の一年間を、生涯忘れられない思い出になるようにという決意で、皆さんに支えられながら努力したいです。最後に、自分自身がこの環境の中で、暮らしていけるという事に本当の幸せと喜びを感じたいです。



『山村留学を終えて』

2002.3.16

ふり返れば一年前、埼玉からこの池川の町にやって来ましたが、なんだかあつという間に楽しかった事や辛かった日々も過ぎ去ってしまいました。そして、今、思い起こせばいろいろな記憶が頭に浮かびます。この記憶は決して忘れる事は無いでしょう。僕にとつて池川は自分を大きく成長させてくれた所です。時には優しく、時には厳しく接し、そして人一倍心配してくれながら、いつも温かく静かに見守ってくれた学園の人達、また、学校生活を共にした先生や友人や、埼玉から来た僕を温かく受け入れてくれた町民の方には、感謝の気持ちで胸がいっぱいです。そして最後まで自分を信じ続けてくれた家族にも、この想いを伝えたいです。人は一人では決して生きていきません。だから多くの周りの人々によって支えられているのです。そのことについて僕は学び深く分かりました。これからはこの経験に基づいて、精一杯生きていきます。



『学園に来つ』2001.6.1

K・M 中学3年女子

不登校。それは本当に突然訪れるもので、まさか私になるなんて思っていませんでした。学校に行きたくても行けない、友達に会いたくても会えない。家で勉強しようと思つても、学校のことが気になつて手につかない。何もかも出来ない事ばかりで、本当にいなくなりたいと思つてしまったこともあります。

そんな、希望を持たなかった時に出会つたのが、この池川自然学園でした。パソコンをいじつていて、偶然見つけたのです。早速メールを送り、見学にも来ました。

そして今日から、この学園にお世話になることになりました。先生方も、あたたかく迎えて下さり、少し緊張がとけました。今私は不安もありますが、とてもワクワクしています。もともとあまえんぼうの私は、きつとつまづくことも沢山あると思います。でも今、この学園に来た時のこの気持ちを忘れずに、一つ一つ乗り越えていきたいです。そしていつか、また学校に通える日を楽しみにしています。

『自然学園にお世話になって』

2001.6.9

こんなに早く、この作文を書くことになるなんて、自分でもびっくりしています。この一週間は私にとって、忘れられない一週間でした。ヤギの乳しぼり、草刈り、保育園に行ったこと…。何もかもが初めてのことばかりで、一つ一つの心に残っています。

けれど、なんと言っても、ここに来てよかったなと思えたのは、この自然学園の方たちと出会えたことです。園長先生、職員の皆様、四人の男の子、Sちゃん。なかなか気持ちが悪くわらなかつたこともあったけど、私の心強い仲間になってくれたと思います。

私はこれから東京に帰って、今まで通っていた学校に行きたいと思いません。つらいなと思った時、この学園のことを思い出して、なんとかやっていけそうな気がします。

この学園は、どうしようかと迷っていた私に、ヒントをくれました。そんな学園のこと、ずっとずっと忘れません。そして夏休みにでも、遊びに来たいと思います。今度は、家族や友達と一緒に…。本当にありがとうございました。



『学園に来て』 2001.7.17

H・A 中学3年女子

朝は、すごく眠たくて大変でした。そうじとか、めんどくさいなあーと思うこともあったし、しんどいなあと思うこともありました。でも、いろ×2自分でやってみて、少しは自立できたかなあと思いました。勉強もけっこうできたし、チクタンもおもしろかったし、川泳ぎも楽しかったです。ごはんとかもおいしかったし、いろ×2あそべて楽しかったです。特にそうじをきちんとしていたら、しゅうかんづいてきました。

ノートパソコンも、使えるようになったのが、一番うれしかったです



『池川自然学園に来て』 2001.6.17

K・M 中学3年男子

池川自然学園に来て、今日で二日目になる。家では、時間をあまり気にしていなかつたけど、ここに来てからは、時計を見る機会が多くなった。それから、掃除、洗濯、飼育など色々、できるようになった。学園の人とはまだ少ししか話していないけど、どうにかやっていけそうな気がしてきた。

家では、一年近く、外には余りない生活が続いていたが、二日前から今日までの間に、少しずつ規則正しい生活が戻って来た。

この自然学園は、夜になると、ぼくの苦手の蛾がたくさん集まるので少々戸惑っております。

自然学園に来るまでに、かなり時間がかかってしまったけど、ここに来てよかったと、思っています。

『一学期を終えて』 2001.7.17

池川自然学園にきて、もう一月近くになって、ここに来てからは、色々あった。来園から一週間くらいは、とにかく、この学園に早く慣れようとよく考えていた。でも、ここでしばらく生活していると、ごく自然に生活できるようにになってきたようになってきた気がする。ここは、一日中、暇な時もあるが、川に泳ぎに行ったり、何か作業をしていると、少し充実した一日だったような気が今でもする。他にも、夜の点呼の前に集會室に、相次いでクワガタが、ガラスに当たってきた時は、ワクワクしたけど、最近では、めっきり姿を見せなくなった。

ここ最近一番嬉しかったことは、もみじ荘で、飲み食い自由で、久しぶりに、楽しい思いができた。こういう

行事がもっと学園でもあったらいいと思った。明後日で、一学期終わって、一度家に帰る僕は、二学期は…

『学園に来て』 2001.7.10

I・M 中学3年女子

この学園に来て二日になります。しんどい事も良い事それぞれあって、一番苦手な事はやっぱり夕礼のめいその時間でした。

良い事もいっぱいあります。いい人達が出てキレイな部屋があつて自然的なゴハンにかこまれてこの二日間中じつとして過ごせたと感じます。

虫もいっぱいいて、草や木や山や川があつて今までは出来ないくらいができたと思います。

『来てから・・・』 2001.7.17

やっぱり愛知の生活とこっちの生活は違いがたくさんあつた。しんどい日もあつてやりたくない事もあつたし、でも今まで自由ほんぽうにやってきていたからこのくらいの事をしてあたり前だと思ふ。

ケジメとしてやれる事はしたいと思ふ。

SちゃんもAちゃんもG君もM君もY君もM君ももうひとりのM君もみんないい人だったから別にそんなに帰りたいとは思わないし、ここなら生活かえる事ができるかもしれない：

『1学期から』2001.9.3

三日目まではいちおう朝礼もやっている。なんてすごいんだ。これから先いけるかは分からないが少しは出るつもりです。
毎日さむいのでこれから先が心配です。

土曜日が楽しみです。かいもの最高。

あと三、四ヶ月お世話になります。進路のタメ十二月ぐらいに帰宅するつもりです。以上

◆ ◆ ◆

『自然学園にきて』2001.9.17

K・H 中学3年男子

中学校よりかは勉強の時間が少なくてらくそうだったからきてみた。ここにきたらやれそうな気がしてきました。

いままでぼくは、家でだらだらしていたのでここががんばりたい。

ここはすごい山の中なので空気がすごくきれいだと思いました。

親からはなれて生活するので自立心がやしなわれてすごくいい体験になると思えました。さぎようが大変そうでした。がんばりたい。

◆ ◆ ◆

『自然学園にきて』2001.9.17

M・S 中学1年男子

自然学園にきてまだ一日しかたつていないけど、今の気持ちは特にあまり予想していたとおりだ。

まずは一週間と言う事だけど、これからまだ何をすることも分からないけど何となくいやな事はない。

朝が早いとかはあるけど、学校に行ってる時と何も変わらないからあまり気にならない。

食べ物がまずいと言う事はまったくなかった。

昼間はあつくて夜はさむくて朝はさむいので、とても気になる。

部屋は、とても広いし、もう一人三年生が、ぼくと同じ部屋に来るのでちょっと緊張している。

この一週間はひとまずがんばりたいと思う。

◆ ◆ ◆

『池川自然学園に来て』2002.3.21

K・H 中学2年女子

私は、自然学園に来て、最初はだるいなあと思いました。朝早く起きなきゃいけないし、そうじや洗濯もしなきゃいけないし。

けど、何日か過ごしているうちにしだいに身に入っていくきました。それに、県外の友達もできたし。仲良くできた子もいたけど、あまり仲良くなかったり、時々ししゃべれなかった子もいました。そこはちょっと残念でした。

私は園内生なので、午後から実習です。畑に種をまいたり、飼育している動物のためにエサや野菜をもらいに行ったり。息抜きに滝を見に行ったりもしました。滝を見るにはけっこう歩かなければいけません。登りはキツかったです。やっと滝が見えるところまで来ました。

私は初めてでした。下りは登るよりは楽でしたが、すべて転んでしまいましたが。(^^)しりもち程度でしたが。。他にもひょうたん桜を見に行きました。ひょうたん桜を見たのは初めてで、どがひょうたんかな？と思ってよく見てみるとつぼみがひょうたんの

形にそっくりでした。けっこういっぱい咲いててきれいでした。

他にもいろいろ学びました。ここにきて良かったです。

◆ ◆ ◆

『池川自然学園にきて』2002.3.21

S・A 中学2年女子

私は、この学園に来て本当に良かったと思います。理由は、ここで多くのことを学び、考えることができたからです。大好きな友達もできました。この学園に出会えたことはとても幸運だったと思います。

初めてここに来た時は、こんな所で暮せるか、泊まっても二泊が限界だと思っていました。親にすすめられ、結局二泊することになり私は少しとまどいました。

一日目。親を見送って自分の部屋に入った後、急に逃げだしたいと思う動かられました。こんな知らない人だらけの所で暮らしていく自信がなかったからです。夕礼ではせっかくみんな自己紹介してくれたのに、緊張して男子の名前や学園は全然頭に入りました。

二日目。女子とはある程度話ができるようになり、だいぶ慣れてきました。

た。安居溪谷に行ったのがとても楽しくて、連休あけて一週間くらいなら行けるかな?と思うようになりました。

連休あけて一週間がたつと、ずっと学園にいてもいいと思えるようになり、今(卒園)にいたるわけです。

学園に来て自分はよく変わったと思います。前よりも積極的になれたことがとても嬉しいです。前の私だったら人に話しかけたり、人の家に電話をかかけたりすることはとうていできなかつたと思います。性格も前より明るくなったと思います。写真にうつるのが大嫌いだつたのも少しマシになりました。忍耐もついたと思います。

こんなに自分が変わったのは、学園の友達、職員さん達のおかげだと思います。みんなの前では本当の自分を出せていたと思います。

前は冗談を言う余裕もなかったのに今はすっかりおバカで素直な自分になりました。これは私のバカに職員さんが怒りもせず付き合ってくれたからです。職員さん全員にお礼を言います。みなさん私におちよくられながらもせいっぱい私達を守ってくれてありがとうございました。これからどこへ行ってもこの学園のあたたかさは一生忘れません。これから辛いことがあっても、この思い出を糧としてがんばります。四ヶ月間、本当にありがとうございます。

ございました。



『学園生活をふりかえって』

2002.3.15

K・K 中学2年男子

ここに入学したとき、初めは、なんかいややつた。でもみんなでいるんな所にいたりしゃべったりしていくと毎日がなかなか楽しかった。でも初めは、あまりみんなとしゃべれなかつた。男子で最初にしゃべつたのはM君だった。M君はけっこうおもしろかつたしぼくも今までのこととかをほぼ全部しゃべれた。

ここにきて思つたのはやつぱ兵庫から高知にいくと、やつぱ、いままでの生活と違ってけっこうなにかとふべんだつた。でもここにきて、いろんなことを初めて知つたり、そう思うとここにきて良かったかなと思つた。そしてここで学んだことをいかして家に帰つてもがんばりたいと思います。

